



地区目標 Rotary
ロータリーの縁を活かそう

通算例会 1474 回
本年:40回
例会日:2016年4月27日
例会場:天童高原
クラブ会報委員長 相馬勝博



司会 緑 三郎 プログラム委員長

会長挨拶 米野幸治 会長 平成28年4月27日

皆さんこんにちは。

今日は、天童高原での移動例会に多くの皆さんに出席していただき、ありがとうございます。



天童クラブと、西クラブからも、おおぜいの方が来てくださっております。が、紹介は割愛させていただきます。

600メートル程上って来ただけで、ここは、空気は綺麗、新緑の芽吹きも綺麗、桜も残っていて、一番良い季節に「最後の鷹匠、松原英俊様」の「鷹との付き合い」の演題で卓話を聞く、機会をつくってくれたプログラム委員会の計らいに感謝いたします。

限られた時間ですが、「匠の技」の実演と、「師匠の卓話」を楽しんでください。
そのあとは、工藤さんが打った「そば」を、ご馳走になり有意義な移動例会にしましょう。



今日の食事



本日の卓話 担当 プログラム委員会

「鷹との付き合い」

鷹匠 松原 英俊氏



1950年青森県生まれ、慶應大卒業後鷹匠を志し、真室川の最後の鷹匠と呼ばれた故沓沢朝治氏に弟子入り、電気、ガス、水道のない山小屋で半自給自足の生活、7年間を過ごした。

私は鷹匠（たかじょう）になって41年になります。自分の体験を通して体得したこと、感動したことなど、皆さんが経験したことのないことをお話し申し上げます。

昨年11月に天童高原に引越してきました。その理由は左目に細菌が入り見えなくなって、通院の利便性を考えて田麦野地区へ移住しました。鷹匠をした動機は小さいころから野鳥が好きでたまらなく、また、山登りが趣味で北アルプスを初め日本の名山はほとんど登りました。蛇もつかまえでは食べた。学生時代は交通事故で死んだ猫もフライパンで炒めて食べたりしました。下手物食いが好きなんですね。下宿先では部屋に蛇数匹を放し飼いにして一緒に暮らしていました。中国人は空を飛ぶ物は飛行機以外なんでも食べる。四つ足は机だけ食べないと言わわれている私はそんな人種であります。

現在、私が鷹匠として実演しているのはイヌワシとソウゲンワシのハイブリッド種（ロシアから輸入）。その他にタカ、ワシ、ミミズクと暮らしています。とにかく生き物の観察がすきなんです。



鷹匠 松原 英俊 氏



松原鷹匠の記事が、山新に大きく掲載されています

机以外の四足は何でも食べました



工藤名人の手打ち蕎麦は、やっぱり旨い！！

天童RC、天童西RCの皆さん、満足いただけましたか

